

議会だより

# えりも

No. 9

平成26年5月1日

に

う

く

ゆ

が



3月定例町議会の概要

2P

平成26年度事業の概要

4P

一般質問 再生可能エネルギーについて

6P

# 3月定例町議会

3月5日から3月14日の期間で第6回定例会が開催され、14日には予算特別委員会において平成26年度予算についての審議が行われました。

定例会では条例の改正や予算の補正など、提出された議案を慎重審議の結果、いずれも原案のとおり全会一致で可決しました。

また、一般質問では4人の議員が登壇し町政に関する諸課題について質問しました。

議件番号	議 件 名
報告第9号	定例出納検査の結果報告について
承認第16号	専決処分の承認について
議案第29号	非常勤特別職報酬条例の一部改正
議案第30号	国民健康保険診療所医師給与条例の一部改正
議案第31号	住宅改修工事助成条例の一部改正
議案第32号	えりも高等学校入学科等に関する条例の一部改正
議案第33号	奨学資金貸与条例の一部改正
議案第34号	平成25年度一般会計予算の補正第9号
議案第35号	平成25年度国民健康保険特別会計予算の補正第3号
議案第36号	平成25年度簡易水道会計予算の補正第3号
議案第37号	平成25年度診療所特別会計予算の補正第4号
議案第38号	平成25年度下水道特別会計予算の補正第3号
議案第39号	平成25年度介護保険特別会計予算の補正第3号
議案第40号	平成25年度後期高齢者医療特別会計予算の補正第1号
議案第41号	平成26年度一般会計予算を定めることについて
議案第42号	平成26年度国民健康保険特別会計予算を定めることについて
議案第43号	平成26年度簡易水道会計予算を定めることについて
議案第44号	平成26年度診療所特別会計予算を定めることについて
議案第45号	平成26年度下水道特別会計予算を定めることについて
議案第46号	平成26年度介護保険特別会計予算を定めることについて
議案第47号	平成26年度後期高齢者医療特別会計予算を定めることについて
議案第48号	北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について
議案第49号	日高東部障害程度区分審査会規約の変更について
発議第3号	議員報酬等に関する条例の一部改正
諮問第1号	人権擁護委員の推薦について意見を求めることについて
同意第3号	公平委員会委員の選任について
同意第4号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
同意第5号	教育委員会委員の選任について
承認第17号	所管事務調査について

平成25年度  
予算の補正等

国民健康保険特別会計繰出金  
1940万円

東洋共同作業所修繕料  
263万円

床・天井・壁の補修及びびろ  
スコンロ・炊飯器の購入経費

デザイナーズセンター  
雨漏り修繕 15万円

公営住宅ボイラー交換等  
43万円  
ふれあいの丘団地ボイラー  
故障による入替

診療所医師宅修繕等 63万円  
所長宅床張替、小児科医宅  
ストーブの購入経費

公営住宅建設事業費

1億9185万円  
国の補正予算である、「好循環実現のための経済対策」により平成26年度予定の公営住宅建設事業を前倒しで行うもの。

※その他、原油価格の高騰による燃料費・電気料金の値上げに伴う電気料の追加計上、事務事業確定に伴う不要見込額の整理等

### 条例改正

### えりも町非常勤特別職の報酬条例の一部改正

えりも町非常勤特別職の報酬条例の一部改正

教育委員会、監査委員、農業委員会及び特別交通安全指導員については、町内並びに近郊に旅行した場合に支給される日当を支給しない事とする

### 国民健康保険診療所 医師給与条例の一部改正

医師の給料月額を平成26年4月～平成27年3月に限り次に定める額とする

所長 125万円  
副所長(内科医) 115万円  
副所長(小児科医) 95万円

### 住宅改修工事等助成条例の一部改正

・最低支給額を15万円から10万円に減額し、より多くの工事に対応  
・他の補助金との併用を可能とする規定  
・期間を撤廃し予算の範囲内で継続

### 人事

人権擁護委員

大 高 耕 二 (75)

公平委員会委員

尾 山 陽 石 (71)

固定資産

評価審査委員会委員

芳 賀 則 雄 (53)

教育委員会委員

嵯 峨 直 樹 (51)

※人権擁護委員

住民から人権相談を受け、法務局の職員と協力して人権侵害による被害者の救済や啓発活動を行う。

※公平委員会

人事行政の公正・中立な運営のために設置。公務員の不利益処分等についての審査などを行う。

### 議会議員報酬条例の一部改正

期末手当の減額規定を平成29年3月まで延長

※固定資産評価審査委員会

市町村長の指揮を受けて固定資産を適正に評価し、且つ、市町村長が行う価格の決定を補助する。

# 予算審議を終えて

予算特別委員会委員長

成田 一人



定例会の開会中に予算特別委員会が設置され、一般会計と6つの特別会計の予算案の審議が付託され、その委員長に私が選任されました。

たのではないかと思えます。そんな中、基幹産業である一次産業をはじめ、子育て支援や防災対策など重要な施策を盛り込み編成された平成26年度予算案については、重要な案件の審議となりますので項目ごとに細かく質疑を行いました。

政権与党は強気な経済政策を推し進め、現在の日本経済は着実に上向いていると言われていますが、景気回復の実感は中小企業や地方経済などには未だ十分に浸透しているとは言えないと思います。国の財政状況も少子高齢化等の要因によって悪化が続く中、リーマンショック後の経済対策や東日本大震災への対応も重なり、近年は極めて厳しい状況にあると思います。

厳しい財政状況であることに変わりはありませんが、審議の中で建設的な意見や指摘がありましたことを今後の町政に十分反映していただき、私たちが住むこのえりも町が少しでも住みやすい町になるように、また、町民の皆様が将来に向かつて不安を持たず、快適に暮らせるまちづくりができるよう取り組んでいかなければならないと考えます。

自主財源が少ない当町は、新年度予算の編成においても大変厳しい作業だった

今後とも私をはじめ議会もえりも町の発展のために努力を続けてまいりますので、ご支援とご協力をお願いいたします。

# の主な事業

## 防災・環境

## 生活・教育

消防デジタル無線整備	1億3,569万円
消防第4分団詰所建設	1,200万円
庶野テレビ中継局非常用電源工事	352万円
防災災害対策関連事業	1,083万円
斎場施設改修工事	160万円
新浜団地1号線改良舗装事業	5,929万円
道路整備事業	1,200万円

えりも岬小学校暖房機器更新	1,896万円
学校支援員の配置	545万円
除雪機械・スクールバス車庫建設事業	7,409万円
住宅改修工事等補助金	750万円
えりも高校野球場フェンス復旧工事	620万円
えりも高校海外実践研修旅行助成金	613万円
公営住宅整備事業	1,000万円

**庶野テレビ中継局電源工事**  
災害時の電力供給停止に備え、10時間程度供給可能なもつ予備電源（蓄電池）を整備。



**消防デジタル無線整備**  
アナログ無線が平成28年5月末で使用期限を迎えることから、平成27年度までに2か年事業によりデジタル化へ移行する。

**防災災害対策関連費用**  
毛布や小型石油ストーブなどの災害用備品や備蓄用食糧の購入を計画的に実施する。平成26年度は携帯用発電機についても整備。今年度は歌別、東洋を予定。北海道振興協会の特別支援事業補助金を活用。

**消防第4分団詰所建設**  
老朽化した消防団詰所の建替えに伴い高所移転を実施。災害活動の拠点としての機能を確保する。建設予定地は笛舞ふれあい館横。



海と川に面した消防第4分団詰所



建設予定地の中学校体育館裏の高台

**車庫建設事業**  
車両の維持管理の効率化のため、除雪機械1台、スクールバス4台を格納可能な車庫を建設する。

**学校支援員の配置**  
平成26年度から東洋小学校に1名増員し基礎学力の向上と定着を図る。

**公営住宅整備事業**  
平成16年度から平成27年度までの事業期間で大和地区の公営住宅を整備する。国の補正予算により新築工事を平成25年度に前倒ししたため、平成26年度は夕陽ヶ丘団地及び大和A団地の駐車場整備事業を実施する。

**住宅改修工事補助金**  
町内業者が施工する住宅の新築や増改築工事に対して、その経費の一部を助成し住宅環境整備を促進するとともに、建設業の振興と雇用の安定を図る。



完成した大和A団地

# 平成26年度

## 産業・観光

ホームページリニューアル	594万円
草地畜産基盤整備	625万円
風の館アザラシ観察用カメラ購入	257万円
水産環境整備事業	3,093万円
エゾシカ被害対策事業	2,567万円
森林基幹道えりも線改良事業	1,650万円
えりも港湾整備事業	4,950万円



現在のホームページトップ画面

ホームページリニューアル  
見やすく、分かりやすく、使いやすいホームページを目指し全面更新を実施する。デザインの再構築や観光情報の集約を図り、情報発信を強化。

**草地畜産基盤整備事業**  
浦河町、様似町とともに本事業を実施し、牧野の計画的な草地改良を図る。本年は調査設計を行い、事業期間は平成30年度までを予定。



増えるアザラシは観光資源としての側面もある

## 保健・福祉

子育て世帯医療費支援事業	660万円
すこやか赤ちゃん誕生祝金	180万円
高齢者通所費支援事業	205万円
特別支援学校就学者交通費助成	121万円
庶野保育所保育室床面張替工事	250万円
児童遊園遊具修繕	249万円
社会保障・税番号制度システム改修	896万円
臨時福祉給付金事業	2,673万円

**子育て世帯医療費支援**  
中学生までを対象として、負担した医療費の一部相当額を商品券で助成することにより子育て世帯の支援を推進し、併せて町内商店の利用促進を図る。

**すこやか赤ちゃん誕生祝金**  
子育て支援の一環として、出生1名につき3万円相当の現金または商品券により助成し、育児経費の軽減を図るとともに、町内商店の利用についてもその促進を図る。



**社会保障**  
**税番号システム改修**  
平成28年1月から利用が開始される予定の、国民に共通番号が割り当てられるマイナンバー制度に対応するためのシステム改修

**臨時福祉給付金事業**  
消費増税による低所得者の負担を軽減するため、臨時福祉給付金を支給する

**児童遊園遊具修繕**  
近浦・西えりも・保育所の危険度の高い遊具を修繕

# 一般質問

## 大坂庄吉議員



### 資源 再生可能エネルギーについて

新エネルギー開発は進まないのか

効率性や採算性等の検討を進める

### 問

大坂議員 近年再生可能エネルギーが見直され、太陽光発電施設が多く見られるようになりまし。大規模な停電など、電力供給が止まった場合の電源確保の対策として考えてみてはと思います。

公共施設、学校や風の館等の施設について補助金制度はどのようになっているのか、施設の中で太陽光発電の試算をしてはどうかと思いますが見解をお伺いいたします。

### 答

総務課長 再生可能エネルギーは、エネルギー源として

永続的に利用することができると認められるものとして、太陽光、風力、水力、地熱など自然界のものや、バイオマス等が規定されています。公共施設につきましては、北海道再生可能エネルギー等推進事業補助金という事業がございまして、地域の防災拠点や災害時等に地域住民の生活等に不可欠な都市機能を維持することが必要な施設などに、地域の特性を活かした再生可能エネルギーを活用した自立・分散型エネルギーシステムを導入するという事業があります。この事業の対象となるのは、社会福祉施設、庁舎、体育館、診療施設、消防

署などで補助率は10分の10以内であります。地域の特性を活かしたエネルギー利用ということであり、他地域のモデルとなる特徴のある事業でなければならぬこと。また、原則、市町村ごとに1施設までの設置とするなど、採択の基準については、非常に厳しい制限があると考えられます。

また、学校施設につきましては、先ほどの補助金とは別に、太陽光発電等導入事業というものがございまして、補助率は2分の1であります。そこでえりも町の地域性も含めそれらを十分考慮し、再生可能エネルギーを導入できるかどうか。導入する場合、



能登牧場（笛舞）に設置された太陽光パネル

### 教育

#### 中高一貫教育について

中高一貫教育の成果は

中高一貫の選択肢は妥当であった

### 問

大坂議員 中高一貫教育においては、6年間を通じて子供達が自らの可能性に挑戦し夢を実現するための基礎となる力を身につけられるよう特色ある教育活動を展開すると認識しています。その中で高校入試がないことによる教育の中だるみで勉強に向う意欲が低下しがちである反面、キャリア教育や環境教育など継続指導に力を入れることで子供達の可能性を大いに引き出せるということも聞いています。

連携型中・高一貫教育が制度化されました11年になります。学校では教育の実態や成果と課題について検討を行



中高一貫導入11年目を迎えるえりも高校

先ほども申し上げましたが、太陽光発電だけではなく、いろいろある再生可能エネルギーのうち、どの再生可能エネルギーが効率のかつ採算性にすぐれているのか等を、各公共施設の特性もありますので、それぞれの担当で総合的に検討していかなければならないと考えているところでありますので、ご理解をいただきたいと存じます。

# 答

教育長 中高一貫にかかわる会議は、大きな会議は年3回の4月、12月、3月に管理

職による推進会議と、中高全体の合同会議を開催し進めております。

①5年目を迎えた平成21年度は部会構成の工夫改善が行われております。また事務局主導で百人浜に学ぶ環境教育、キャリア教育、教育連携が重点的に推進されることになりました。

②平成25年度を「教育連携充実のスタートの年」とし、英語については平成16年度から継続実施され、積極的な乗り入れ授業が数学国語で実現したところであります。

③平成25年度には小学校も参加する合同実施や、えりも町の受験料半額補助により、英語検定、漢検、数検など学ぶ意欲の高揚と基礎学力の習得に結び付けております。

④中高連携型入学選抜はキャリアアプレゼンテーションと個人面談、英語の問答が実施されています。

⑤えりも中学校では、通常の入学選抜学力検査に対応して、「えりも中学校学

力テスト」を行い、緊張感を持たせる対策と高校入学後の指導に役立てております。

学ぶ意欲の低下の対策として、平成26年度からは中学校における学校数値目標の設定を義務付けるとともに、生徒にも中学1年生段階から入試への目標を持たせ、個人ごとに数値目標を持たせながら、日々の学習指導を進めるよう、強く指導したところであります。

中高一貫教育の背景として、保護者の経費負担の軽減や通学の負担軽減などがあります。高校存続についても、中高一貫の方策が選択肢として妥協であることとを確信しているところであります。

中学校・高校を問わず、先生方は本当に前向きに生徒のために努力していると考えております。

学校と家庭が車の両輪となつて進められた時に、初めて「学ぼうとする力と基礎学力定着」が実現できることと確信しております。

26年度は、基礎学力の定着元年と位置付け、結果を求めて進める覚悟でありますのでご支援願います。

## 高松亮裕議員



### 環境

空き家バンク設置について

### 問

空き家の有効利用を

### 答

空き家情報の収集を行っていききたい

### 問

高松議員 近年、人口の減少や高齢化の進展に伴い、管理されない空き家が増加しています。空き家にしたまま長年放置しておく

住宅の劣化が進み、風で屋根が飛ぶ、倒壊するなどの防災上の問題をはじめ、景観上の問題や衛生上の問題も心配されます。

空き家バンク制度とは、こうした管理されない空き家の廃屋化を防止し、有効利用を通して地域の活性化を図るため、空き家の売却・賃貸を希望する所有者に申込み・登録をしてもいい、その情報をホームページや広報並びに役場窓口で公開・閲覧をしていくことで空き家の利用希望者に対し情報を提供するというもの

です。 当町のように、不動産業者がいない地域ではぜひ必要な制度だと思えますがいかがお考えか。

### 答

企画課長 空き家が放置されることと様々な問題が生じることについては、自治体の大きな課題となっております。北海道町村会でも「廃屋・空き家対策」の取り組みとして昨年3月、報告書をまとめております。

空き家バンクを運営する他町の例では、大きな修繕をしなくても居住できる物件は、すぐに売買が成立するようです。一方では、取り組んでみただが実績のないところも相当数あるようです。



次第に崩れ行く放置された空き家

町内において、情報が広く発信されないために優良な物件がただ老朽化していく状況があれば、町としても空き家情報の提供に取り組みが必要があると考えますので、まずは空き家情報の収集を行いたいと思いま

# 手塚裕警議員



## 商業

### 町施設の食材仕入れについて

問 地元商店への食材発注が減っているのでは

答 町施設に関しては再度周知を行う

手塚議員 車社会・ネットの普及・大型店の進出など町内個人商店にとっては厳しい状況が続いている。

その中であって、最近では町関連施設の給食食材の町外業者への発注が増えてきている。もはや個人商店の努力は限界に近く、単なる価格競争に地域経済をゆだね、商店街解体という事態となれば町政にとって取り返しのつかない損失を与えることとなる。

商店は地域コミュニティの核であり、まちづくりの観点からも地域にとって大切な存在である。商店街を守るために必要な個人商店の支援とともに町内業者優先の実現に向けて発注元業者への協力要請も必要と考える。



食材取扱が増える生協

## 答

総務課長 当町における給食は施設ごとに実施形態が異なっております。各学校に

①現在の町関連施設(学校・保育所・診療所・老人福祉施設)における食材の町外発注割合は何%になっているか?  
②町内業者優先の方針をどう確保するつもりか?  
③町の指導が十分及ばない給食運営委員会ややまと苑等に対しては仕入差額分の何割かを補助するような制度は作れないか?

については給食運営委員会、保育所・診療所・高齢者福祉寮については民間委託、ケアホームいずみはえりも福祉会に委託しています。

食材の発注割合(概算)

	商店	生協	町外
学校	30%	70%	
保育所	20%	50%	30%
診療所	90%	10%	
ゆうゆう	10%	90%	
いずみ	70%	10%	20%

町においては食材ばかりでなく消耗品や備品も含め町内で購入できるものは町内で、購入できないものは日高管内から、それでも調達できなければ道内を探すとといったように事務を進めてまいりましたが、職員たちには再度周知したいと考えております。

各給食業務の委託先についてはそれぞれ適正金額で業務を委託しておりますので町としての考え方をお伝えしています。大和苑に関してはえりも福祉会独自の運営ですので町として直接的に指導を行う事にはならないと考えます。

## 子育て

### 保育所の老朽化について

問 老朽施設の改修を

答 町民の要望があれば都度対応している

## 問

手塚議員 少子化が進行し、児童数の減少が予測される一方、女性の就労機会の増大や核家族化の進行により、保育ニーズは増大している。また、就労形態の多様化に伴い、多様な保育ニーズへの対応が求められており、保育を巡る状況は日々大きく変化している。このような中、庶野保育所・岬保育所は老朽化が年々進行しており、保護者からも良好な保育環境を確保するため、早期の対応が求められている。

## 答

町民生活課長 庶野・岬保育所は老朽化が進む中ではあります。その中でも良好な保育環境を確保するため職員ともども日々努力しているところであります。

現時点におきましては保護者の方から施設改修の要望は特段ないとの報告を受けております。また職員からは子供達を安全安心に保育するため、気になる点は都度連絡を受け、早めの改修を心がけております。

①現在、庶野・岬両保育所において保護者や職員から施設改修等で要望されている事項は何か?  
②両保育所の中長期保全計画、大規模改修計画はどうか?  
③国の進めている、「子ども・子育て新システム」



老朽化が進む岬保育所



改修計画につきましては老朽化した施設について効率的・計画的な施設の維持管理や更新が求められることから町民皆様の意見を聞きながら公共施設の在り方に関して検討することとしております。

子ども・子育て新システムの概要については、平成24年の8月に「子ども・子育て関連3法」に基づいての制度でありまして、平成25年度は国が「子ども・子育て会議」を設置し、具体的な検討を進め、早ければ27年度をめどに新制度をスタートする予定でおります。

国は、教育・保育・子育て支援の充実を図るため各市町村にニーズ調査を依頼し、今後における子育て支援事業計画に役立て、主に認定こども園の普及、放課後児童クラブの拡充及び待機児童の解消等を進めようとしております。

町ではこのニーズ調査を実施し、現在集計作業中でありますので、今後は国の動向を注視しながらニーズに基づき検討を重ねて、計画に反映させていきたいと考えております。

# 石川昭彦議員



## 産業

たくましく活力ある

町づくりについて

問 町内産業の活性化を

答 6次産業化の推進を進める

### 問

石川議員 町長は町政執行方針において、農林水産業の振興について述べられました。町内漁業の水揚げは高齢化や漁家の減少、資源減少などにより年々減り続けており、このままでは加工業を含め水産業の落ち込みは防ぐことは出来ず、人口の減少も加速することになります。町としての見解を伺います。

農業についても基幹作物である和牛が、昨年からの高値に支えられているものの離農も相次ぎ飼養頭数は頭打ちとなっております。更なる対策が求められます。観光業の新たな可能性を探ると共に、漬物コンクールやなべ自慢大会なども活かして産業の6次化を図るべきではないか。



晴天にも恵まれ大盛況のうちに幕を閉じた第4回うに祭り

### 答

産業振興課課長補佐 えりも町は漁業を基幹産業として発展してきましたが近年、漁業を取り巻く環境は、厳しい状況が続いていると認識しております。

このことから、引き続きコンブ漁業の安定を図るための漁場造成をはじめ、ハタハタ、マガレイなどの種苗生産やエゾボラなどの飼育試験を行うなど資源増産のための努力を続けていくとともに、行政だけでなく各産業団体、企業、町民と連携し、地域産業の活性化のための取組みを進めていきたいと考えています。

また、えりも町としても過去の答弁において、お答えしているように、町の考える産業の活性化は、農林水産業の6次産業化の推進だと思えます。そのため平成22年に制定されました「地域資源を活用した農林漁業者などによる新企業の創出及び地域の6次産業化」にチャレンジするという意欲のある農林漁家をはじめとする多様な主体から相談等があった場合には、どのような応援、支援ができるか十分協議し、検討していきたいと考えています。

たいと考えていますのでご理解願います。

観光については、これまでも日高東部3町と広尾町で連携する4町広域宣伝協議会において様々連携してきましたが、修学旅行生の農林漁家への民泊や体験交流の受入を行う日高王国推進協議会に今年度から本格参加するなど、他町村と連携した観光の推進や「いずし作り体験」「うに祭り」などを活かした観光など、新たな観光の可能性を探るべく町内外の関係団体と協力連携をとりながら進めていきたいと考えておりますのでご理解願います。



漬物物コンクールの様子

# 議員と語る会

## えりも岬

出席議員：渡部 川村 近藤  
林業総合センター 5名

- ◇教員住宅の整備を行ってほしい。特に風呂トイレがひどい。
- ◇ホームページの金額が高すぎる。
- ◇依然として鹿が多い。
- ◇アザラシ対策を積極的に進めてほしい。

## 東洋

成田 上野 平野 高松

出席議員：東洋生活館 4名

- ◇内科の待ち時間が短くなるようにしてほしい。
- ◇老朽化した公営住宅と教員住宅を整備してほしい。
- ◇道徳教育の普及を進めてほしい。

## 近浦

出席議員：石川 大坂 笹谷  
近浦多目的集会施設 12名

- ◇近浦地区の公営住宅の建て替え。
- ◇旧作業所の売却価格を下げてほしい。
- ◇近浦船揚場の整備をしてほしい。
- ◇中近浦に越波柵を設置してほしい。
- ◇アイヌ協会で町のバスを利用したい。

## 本町

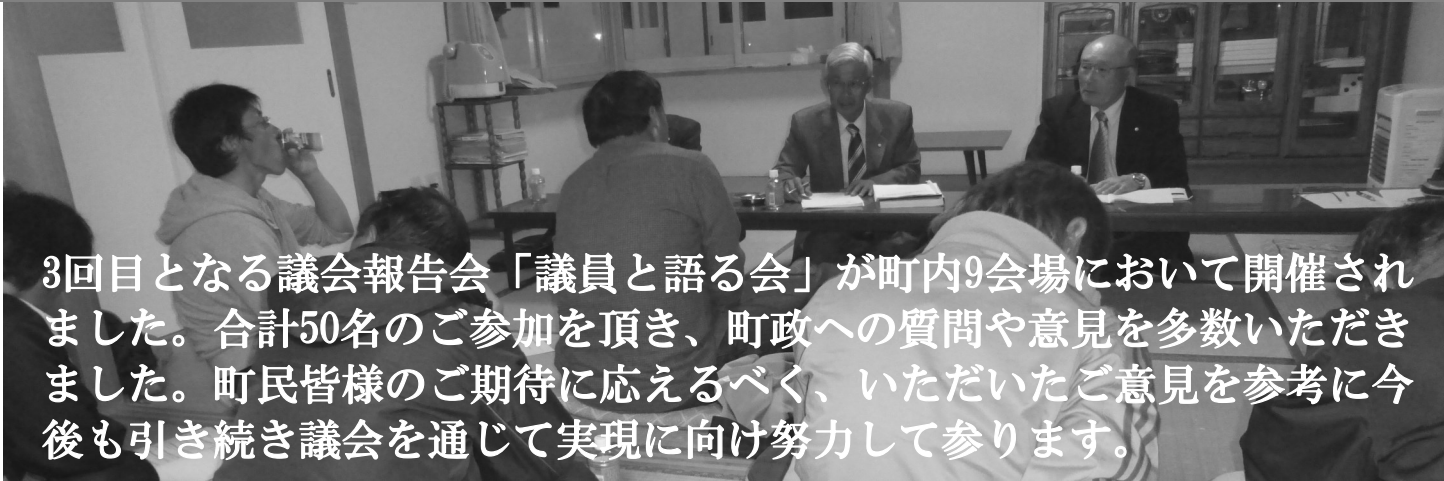
出席議員：渡部 川村 手塚 近藤  
福祉センター 3名

- ◇ホームページリニューアルに費用がかかりすぎではないか。民間企業ではありえない数字。
- ◇シカ防護柵の補修点検が不十分ではないか。
- ◇新浜団地1号線、中通りも早急に補修してほしい。
- ◇条例制定も視野に入れて危険な空き家対策を進めてほしい。
- ◇延長保育をすべての保育所で行ってほしい。働きたい人はいても、早く帰られては企業側も雇うに雇えない。
- ◇風の館周辺の環境整備が不十分ではないか。国定公園であったとしても町独自にやれることはあるし、要望も積極的に行っていくべきだ。
- ◇悲恋沼が笹に浸食され小さくなってきている。笹刈り等は町で行うべきでは。
- ◇パークゴルフ場、キャンプ場、高齢者センターの連携を強めるなどして、より魅力的な集客を図るべきではないか。

## 目黒

出席議員：石川 大坂 笹谷  
目黒生活館 2名

- ◇さくら公園の芝生の整備を行ってほしい。
- ◇空き家対策を行ってほしい。
- ◇消波ブロックの嵩上げを行ってほしい。
- ◇イベントの有効活用による町内の活性化。
- ◇生活館に発電機を設置してほしい。
- ◇風の館で軽食喫茶をやってみてはどうか。



3回目となる議会報告会「議員と語る会」が町内9会場において開催されました。合計50名のご参加を頂き、町政への質問や意見を多数いただきました。町民皆様のご期待に応えるべく、いただいたご意見を参考に今後も引き続き議会を通じて実現に向け努力して参ります。

## 庶野

出席議員：石川 大坂 笹谷 手塚  
庶野生活館 4名

- ◇最近何かと問題の多い韓国への修学旅行はやめるべきではないか。
- ◇防災倉庫までの除雪を行ってほしい。
- ◇柔道少年団の練習場所として生活館を貸してほしい。
- ◇袋地生活道路の整備がどうかにならないか、せめて除雪だけでも町にお願いしたい。
- ◇旧町道に物を置いている住民を見かけるが町は把握しているのか。

## 西えりも

出席議員：渡部 川村 手塚 近藤  
西えりも生活館 5名

- ◇生活館の改修を行ってほしい。特にストーブと屋根。
- ◇シカ柵の点検強化を。
- ◇百人浜の植樹後のケアをしっかりとしてほしい。「議員の森」の柵が壊れて観光客も通るところなので見苦しい。
- ◇診療所を医師3人体制にする余裕はあるのか。
- ◇診療科が分かれているのだから主治医制のようなことはしないでほしい。

## 歌別

出席議員：成田 上野 平野 高松  
歌別生活館 8名

- ◇水位上昇か地盤沈下か、波が上がるようになってきたので越波対策の見直しを。
- ◇夏季滞在者を誘致するなど人口減少対策を進めるべきでは。
- ◇柔道練習場の確保をしてほしい。週2回しか練習できなくて、時間も限られている。
- ◇役場職員採用の平等性、透明性を確保してほしい。

## 笛舞

出席議員：成田 上野 平野 高松  
笛舞ふれあい館 7名

- ◇草地改良に伴う代替採草地の確保。
- ◇旧作業所の売払い価格を下げてみては。
- ◇アベヤキ川砂防ダムの方々の今後の在り方はどうなっているのか。魚道の設置や埋土除去を含めて専門家の意見を聞いてみては。
- ◇えりも町は他地域と比較して人口減少対策が遅れているのではないかと。
- ◇学力向上のためにタブレット等の活用を検討してみては。

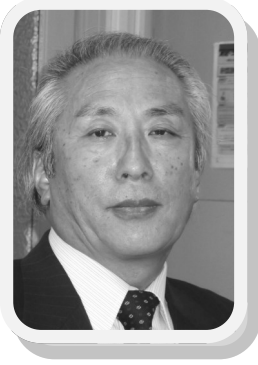
# 議会の動き

- 2月6日 日高交通安全共済組合定例会
- 3月3日 議会運営委員会
- 3月5日 全員協議会
- 3月5日 ~ 3月14日 第6回定例会
- 3月14日 予算特別委員会  
広報特別委員会
- 3月25日 日高東部消防組合議会  
日高東部衛生組合議会
- 4月8日 議員勉強会  
広報特別委員会
- 4月21日 ~ 4月25日 議員と語る会
- 4月26日 広報特別委員会

# この人に聞く

日高目黒郵便局 局長

板橋 清



昭和24年様似町生まれ。札幌短期大学卒業。慶應義塾大中退。札幌市営バス勤務後、郵便局勤務。本桐郵便局を振り出しに平成16年より目黒郵便局勤務。妻と2人暮らし。A型。嫌いなものは生卵。酒・タバコはやらない。好きな言葉は「あきらめない」。

：目黒の印象は？

海あり、川あり、山ありの地域で、アウトドア好きな私にはぴったりの場所です。地元の人々は、自然環境に恵まれすぎて素晴らしさを忘れていているような気がします。

：えりも町に来て驚いたことは？

目黒地区に住んで10年になりますが雪が多いのに驚いています。

ママさんダンブでは除雪が困難なため除雪機を手に入れました。また、夏も暑いです。最近エアコンを購入しました。

：好きなことは？

魚釣り、山菜採りが好きですが、仕事が忙しくなかなか行けないというのが現状です。

：目黒地区の将来は？

どこの地区も同じですが過疎化が進んでいます。現在70世帯前後ありますが、20年後に

は40世帯前後になる気がします。

もつと水産業が盛んになることが人口減少を食い止めることになると思います。また、獲得漁業だけでなく水産加工業もあれば働く場所の提供にもなります。

自然環境に恵まれた地域を活かして、自然を満喫できるような宿泊施設などがあれば人の往来も盛んになります。えりも町産の食材を提供するなどしてPRすることも必要と考えます。

(取材・笹谷)



# 表紙写真

東洋小学校において2年ぶりとなる入学式が行われた。新入生は向かって右から、藤井貴文くん、神田玲美ちゃん、中野花怜ちゃん、工藤しずくちゃんの4名。2年生がいなかったため1学年は単式クラスとなる。全校生徒数は14名となった。入学おめでとう。

(撮影・大坂)

# 編集後記

この議会だよりが町内の皆さんへ届くころにはそろそろ桜の咲く季節になっていくかと思えます。春は別れと出会いの季節でもあります。入学や卒業、就職や転勤とそれぞれ新しい環境の中で生活が始まります。

その中でも特に新社会人になる若者に期待をし、応援をしたい。せっかくなので就職しても1年以内に3割以上の青年が仕事を辞めてしまおうと言われている。理由は様々あると思うが、初めから自分にあった仕事や仲間に出会うことなど、めったにあることではないと腹を決めてもらいたい。主体は自分です。社会人一年生の自分が、仕事や職場の先輩の悪いところをいくら指摘しても自分のプラスにはなりません。学校でも職場でも良くしたいと思うなら、自分に力をつけることです。

周りのせいにはせず、明るい自分、仕事ができる自分、親切に出来る自分、なんにでも挑戦する自分になる事です、必ず環境は変わります。そんな若者を守り、育てるわが町えりもでもあると信じます。頑張れ、1年生。頑張れ、新社会人諸君。

(石川)

## 議会広報特別委員会委員

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 石川 昭彦 |
| 副委員長 | 高松 亮吉 |
| 委員   | 大坂 庄吉 |
| 委員   | 笹谷 廣喜 |
| 委員   | 手塚 裕警 |